

# 事前評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成19年10月15日(月)

研究課題	(改題)自然公園内における湖沼の水質の向上に関する研究	
研究期間	平成20年度～22年度	
	評価項目	平均点
	1 研究の背景	4.0
	2 研究目的の的確性	3.2
	3 研究内容の合理性・新規性	3.2
	4 研究予算の妥当性	3.2
	5 目的達成の可能性	2.8
	6 期待される研究成果	3.4
	7 予備研究の状況	2.6
	8 総合評点	3.4
水生植物と二枚貝を併用して水質を浄化するという発想は新規性があり評価できる。この水質浄化システムの有効性が明らかになれば、富士五湖や他の自然公園内の湖沼にも本研究の手法が適用できる。また、湖沼の生態系を重視した水質浄化システムのモデルとして、学術的な価値も大きい。なお、この研究に当たっては、対象水域の水質を悪化させる諸要因についても調査・分析されたい。		